

＜社会における活用のポイント＞

- ①ICT を活用した学習場面を想定して「単元を通した授業デザイン」をすること。
- ②課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるように指導すること。

事例1 見学活動で ICT 端末を活用し、情報を収集する場面
各学年、各単元の社会科見学において活用

使う機能：カメラ、録画

○社会科見学

- ①写真機能を使って記録する。(★)
- ②録画機能を使って、映像を記録する。(★)
- ③映像の中に自分たちの解説を入れる。
- ④レポーターをつけてレポート形式の動画を撮る。
 ★持ち帰ることにより、週末に取材を実施



○グループ活動

- ①インタビューの結果を繰り返し再生し大切な内容を確認する。
- ②撮影した映像や動画を繰り返し確認したり、話し合ったり、吟味したりする。
- ③調べたことを基に各自の問いについて考えたり、収集した画像や映像を基に、分かったことをまとめたりする。



効果的ポイント

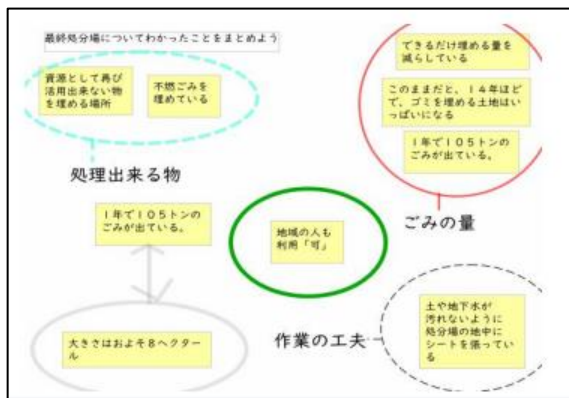
- ・繰り返し再生できる。
- ・拡大して細部まで映像で確認できる。
- ・ファイル共有機能による情報共有で、考えを広めたり、深めたりできる。



事例2 共有した考えを基に、ICT 端末を活用して関連付けたり整理したりする場面
第4学年「廃棄物を処理する事業」 最終処分場の働き

- ①互いの考えをグルーピングするなど整理しながら、話し合いを進める。
- ②互いの意見を関連付けて話し合いを進める。
- ③互いの班のまとめを共有する。

使う機能：かき込み、共有



効果的ポイント

- ・発言が苦手な児童も意欲的に考えを表現できる。
- ・関連付け、グルーピングなどが容易である。
- ・操作しながら話し合いや考えの整理ができる。
- ・すぐに他班とまとめを共有できる。
- ・学びの記録を残すことができる



【活用したソフトや機能】

MetaMoJiClassRoom グループ活動シート